



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 *SGH*通信 2019

No. 10 (令和元(2019)年7月22日発行)

SGH クラブディベート班

栃木県春季英語ディベート大会

(高文連英語部会主催) TCL 部門で大活躍！！

団体: 準優勝(佐野 B チーム)、第 3(同 A)、7(同 D)、8(同 E)、10(同 C)位(32チーム中)

個人: 1 位 新井優平 2 位 長竹真輝、梅田香穂 4 位 江部青飛 6 位 山崎理紗子
10 位 岡部豪太、川俣蒼生 (99人中)

2019年6月16日(日)、宇都宮東高校で上記県大会が開催されました。本大会はディベート経験により、3つの部門に分かれ試合が行われ、1年生の参加した TCL (旧ビギナー) 部門で、佐野 B チームが 4 戦全勝、上記 4 チームも 3 勝を挙げ、ベスト 10 に 5 チーム入ることができました。また、個人でも上位 3 つを独占、ベスト 10 に 7 人が入賞することができました。



TCL 部門 団体準優勝

1-2 新井優平(B チーム)

結果は惜しくも準優勝でしたが、チームメンバーと一致団結し、目標としていた全勝を達成でき嬉しかったです。次は絶対優勝します。

1-1 山崎理紗子(B チーム)

練習を重ねるにつれてチームの団結力も強くなり、大会では互いに支え合うことができました。また、全勝できて嬉しかったです。

1-1 長谷川羽菜(B チーム)

今回の春季大会は私にとって初めての大会でした。仲間と協力し準優勝という結果を残すことができ、とても嬉しかったです。そして仲間がいることに感謝し、この経験を次につなげていきたいです。

団体第 3 位

1-1 江部青飛(A チーム)

チームとして一人一人が自分の得意なことをできたと思います。望むような形に届かなかったイメージが(勝手に)あるので、これからもう着実に努力していきたいです。

1-1 岡部豪太(A チーム)

チームとしては優勝を狙っていたので今回の結果は少し残念でした。ただ、ディベートの表現力を競うコミュニケーション点では 32 チーム中 1 位を取れたうえ、全体でも 3 位を取れたので結果に努力が表れて良かったと思います。

1-1 小林杏珠(A チーム)

今回の春季大会は私たち 1 年生にとって初めての大会だったので、期待と不安を胸に挑みました。3 位という結果は正直悔しいものですが、それよりもチームの仲間と連携して勝ち取った喜びの方が強いです。次回はより良い結果を残せるように頑張ります。

個人入賞

1-1 新井優平

今まで培ってきた技術・考えをフルに活用し、個人1位を取ることができました。自分だけの力ではなく、その技術・考えを教えて下さった顧問や部員みんなの力の結果だと思います。そんなディベート班全員に恩返しできるよこれから頑張ります。

1-1 岡部豪太

まさか自分が個人成績でトップ10に入れるとは思っていませんでした。とても嬉しかったです。ただ、今回のディベートでは満足に出来なかった点もあるので、次回の大会までにそうした部分を改善していきたいです。

1-4 長竹真輝

2位と書かれた賞を手にした時、今まで頑張ってきて良かったと心から感じました。この結果に満足せず常に向上心を持って精進したいです。

1-1 江部青飛

自分の満足できるディベートができたと思います。ただ個人的には結果が付いて来なかったと感じているので、次は更なる高みを目指したいと思います。

1-2 川俣蒼生

個人的な賞を取るのは初で、新鮮な思いです。次回は、もっと良い結果が残せるよう日々の練習を頑張りたいです。

1-1 梅田香穂

電子辞書を忘れてしまうというハプニングの中、チームのメンバーがたくさんサポートしてくれて、このような賞を取ることができました。本当に感謝します。今回は初めての大会でとても緊張しましたが、ディベートは私にとって、得るものが多くたくさん学ぶことができるので、これからも続けていきたいと思いました。

1-1 山崎理紗子

6位入賞だと知った時はとても驚きました。この喜びを糧に、今後も日々頑張っていきたいです。

第19回青少年英語スピーチコンテスト

2019年6月16日(日)足利市国際交流協会主催の上記大会が足利市民会館で開催されました。「リンカーン大統領のゲティスバーグ演説」を題材にした「高校生以上20才以下の部」、「中学生以下の部」において、それぞれ録音(CD-R)による事前審査(予選)を勝ち抜いた精鋭24名による本戦が行われました。本校高校1年1組の中島碧さんが、部門最年少ながら、見事「最優秀賞(第1位)」、附属中3年3組の加藤瞳さんも「最優秀賞(第1位)」に輝き、姉妹都市のスプリングフィールド市、シカゴ市派遣団のメンバーに選ばれました。派遣団メンバーは昨年の山本寿々さんに続く快挙となります。



高校1年1組 中島 碧

「シンカゼミ」等、中学生の時の体験や、日々の練習のおかげで、最優秀賞を獲得することができました。とても貴重な体験でした。

中学3年3組 加藤 瞳

単なる憧れから、「絶対入賞!」という決意に変わり、願いが叶い驚きです。チャンスをくださった皆様、本当にありがとうございました。